

Title	編集後記
Sub Title	
Author	竹村, 英樹(Takemura, Hideki)
Publisher	三田社会学会
Publication year	1997
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.2 (1997. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-19970000-0094">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-19970000-0094</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

第2号では特集を2つ組みました。特集Ⅰ「社会学の方法とリアリティ」は創刊号の特集「社会学はいま、何をなすべきか」の継続課題として位置付きます。一方、特集Ⅱ「奥井復太郎の都市論」は奥井復太郎生誕100年(と著作集刊行)を記念しての特集です。生誕100年といえば、奥井復太郎とともに、三田の社会学にとって忘れてはならない社会学者有賀喜左衛門も、今年生誕100年にあたります。特集Ⅱ同様、三田社会学会ならではの企画ができるのではないのでしょうか。

創刊号に続いて第2号を発刊することができました。手探りで始めた創刊号の編集作業と比べ、第2号の編集では比較的順調に作業を進められました。その意味では、『三田社会学』も軌道にのりつつあるといえるのかもしれませんが。これも、担当編集委員ならびに査読委員諸氏のご苦勞と、短期間の校正に快く応じてくださった執筆者諸氏のご協力あってこそ、と感謝致します。また、大空社、龍溪書舎、慶應義塾大学出版会、一藝社の4社に広告を出してもらいました。財政的安定は学会誌継続の大きな力となります。さらに、創刊号同様、梅沢印刷所には無理を承知で短期間の印刷製本をお願いしました。以上5社に御礼申し上げます。  
(竹村英樹)

## 編集委員会

川合 隆男(委員長) 有末 賢 鈴木 智之 渡邊 秀樹  
大石 裕(事務局) 竹村 英樹(事務局)

題字は福沢諭吉による

### 三田社会学

#### 第2号

発行 1997年7月12日

編集発行:三田社会学会

〒108 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学法学部大石裕研究室内

Fax 03(3798)7480

印刷:梅沢印刷所

300部発行 : 頒価 1,000円